

目 次

(教育創造開発機構)

巻頭言

愛知教育大学教育創造開発機構紀要発刊に寄せて

学長 松田 正久

学術論文

- * 高等教育機関における図書館評価 ―「大学図書館の社会学」を構想する― 1
長谷川 哲也・内田 良
(Tetsuya HASEGAWA・Ryo UCHIDA)

- * イメージワークに伴う個の心理的ダイナミクス ―保育者を目指す者の豊かな感性を拓く―11
林 牧子
(Makiko HAYASHI)

- * 小中学生の一年間にわたる不登校傾向の変化とソーシャルサポートとの関連21
五十嵐 哲也
(Tetsuya IGARASHI)

- * 日本語のプロセス・ライティングにおける効果的なフィードバック ―奨学金応募エッセイの作成を通じて― ...29
稲葉 みどり
(Midori INABA)

- * シンガポールの教育 特に、ストリームについて 39
川上 昭吾・森本 弘一・劉 卿美・橋本 健夫
(Shogo KAWAKAMI・Koichi MORIMOTO・Kyonmi YOU・Tateo HASHIMOTO)

- * ひきこもり経験者への支援と発達障害の特性理解 (1) 家族会参加者への質問紙調査から47
川北 稔
(Minoru KAWAKITA)

- * 国家と地域による統制と学校のカリキュラムづくり55
子安 潤
(Jun KOYASU)

- * 表現リズム遊びにおける児童から表れた動きに関する事例研究63
成瀬 麻美
(Mami NARUSE)

- * 学習意欲を高める授業の工夫についての研究 ―生活科「なつやさいをそだてよう！」の実践を通して―73
野田 敦敬・奥村 一将
(Atsunori NODA・Kazumasa OKUMURA)

- * 中学生の他尊感情と友人関係の諸側面との関連 83
柴山 香澄・武藤 悠子・五十嵐 哲也
(Kasumi SHIBAYAMA・Yuko MUTO・Tetsuya IGARASHI)

* 〈死者〉の言葉 —文学教育の（不）可能性を問う—	89
	丹藤 博文 (Hirofumi TANDO)
* 柔道事故と頭部外傷 —学校管理下の死亡事例 110 件からのフィードバック—	95
	内田 良 (Ryo UCHIDA)
研究ノート	
多旋律の強弱聴き分け能力の検査と訓練の検討—MIDI 初心者のために—	105
	段王 れい子・江島 徹郎・野崎 浩成・梅田 恭子 (Reiko DANOU・Tetsuro EJIMA・Hironari NOZAKI・Kyoko UMEDA)
今日の教養と教養教育の現状・課題・展望	109
	藤井 啓之 (Hiroyuki FUJII)
キミ子方式と組み合わせ絵画題材—想像画の指導に関する研究—	117
	松本 昭彦・金 由惺 (Akihiko MATSUMOTO・Yuri KIM)
「共感」に基づいた授業の提案—安井俊夫「スパルタクスの反乱」の実践に学んで—	127
	三上 真葵・中妻 雅彦 (Maki MIKAMI・Masahiko NAKATSUMA)
教師の指導行動研究にみる 2 つの指導性機能間の関連	135
	弓削 洋子 (Yoko YUGE)
実践報告	
地域連携による教科「情報」の授業の実践	141
	江島 徹郎・齋藤 ひとみ・梅田 恭子・野崎 浩成 (Tetsuro EJIMA・Hitomi SAITO・Kyoko UMEDA・Hironari NOZAKI)
「問題解決の着手点」と「着想練習のおさえ」をつなぐ算数指導—『奈良の学習法』の理念を生かして—	145
	蜂須賀 渉 (Wataru HACHISUKA)
発達障害を有する子どもへのグループプレイセラピー	155
	飯塚 一裕 (Kazuhiro IIZUKA)
International Cooperation in Industrial Technology Education at Aichi University of Education	159
	宮川 秀俊 (Hidetoshi MIYAKAWA)
理科教育のためのウェブサイトの必要性和可能性	167
	佐々田 俊夫 (Toshio SASADA)

巡回展「富士山展」を利用した教育活動	171
	佐々田 俊夫・三宅 明 (Toshio SASADA・Akira MIYAKE)
浮く・泳ぐ運動の授業実践—Y 小学校 4 年生の実践から—	177
	鈴木 一成 (Kazunari SUZUKI)
「叱ること」についての臨床教育学的考察	183
	吉岡 恒生 (Tsuneo YOSHIOKA)

注記：*印は査読を受けた論文であることを示す
本紀要のすべての投稿論文について、無断での転用・掲載を固くお断りする。